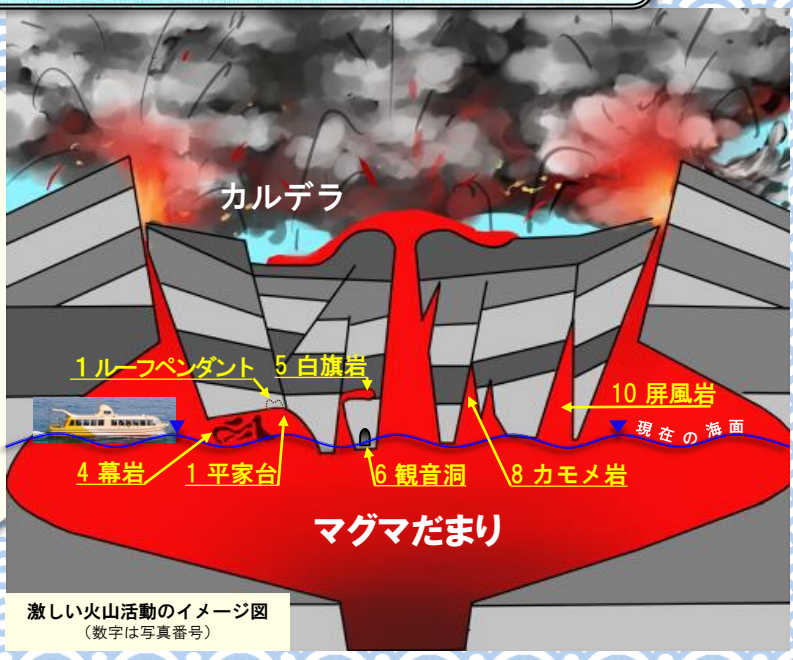
青海島観光鳥瞰図　**吉田初三郎**（よしだはつさぶろう）作（昭和25(1950)年仙崎町長依頼による）

Museum of Magma "Omijima Island"

マグマの博物館・青海島

（はくぶつかん　おおみじま）

青海島は、
約9000万年前の
巨大カルデラ火山の底の
マグマだまりやマグマの激しい
活動の産物を目（ま）のあたりにする
ことができる日本でも有数の
場所なんです。

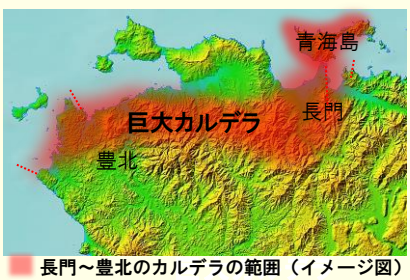


激しい火山活動のイメージ図
（数字は写真番号）

大地の生い立ち

約9000万年前

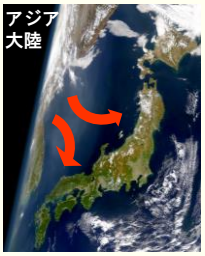
日本列島のイメージ図



長門～豊北のカルデラの範囲（イメージ図）
国土地理院地図3Dに追加記入して作成

日本列島はアジア大陸の一部として大陸の縁にあり、マグマが激しく活動していました。
そして、マグマ噴出による陥没で長門～豊北地域に巨大なカルデラ（※）ができました。
（※）カルデラ：火山の活動によってできた大きな凹地

約1500万年前



赤矢印 ➡ は、陸地の移動経路

移動方向
西日本：時計回り
東日本：反時計回り

日本列島移動のイメージ図
NASA画像に追加記入して作成

アジア大陸の縁にできた裂け目が広がって日本海ができ、日本列島は、ほぼ現在の位置に移動しました。

現　在

青海島をテーマにしたポスター

（一社）海洋連盟主催「うみぼすグランプリ2016」一般の部グランプリ受賞

長年にわたる数千メートルの隆起と、荒波などによる侵食によって「海上アルプス」と言われる美しい景観となりました。

【監修】　山口大学名誉教授　今岡　照喜

青海島 、平家台とその周辺：約9000万年前のカルデラ火山の地下深くの様子！

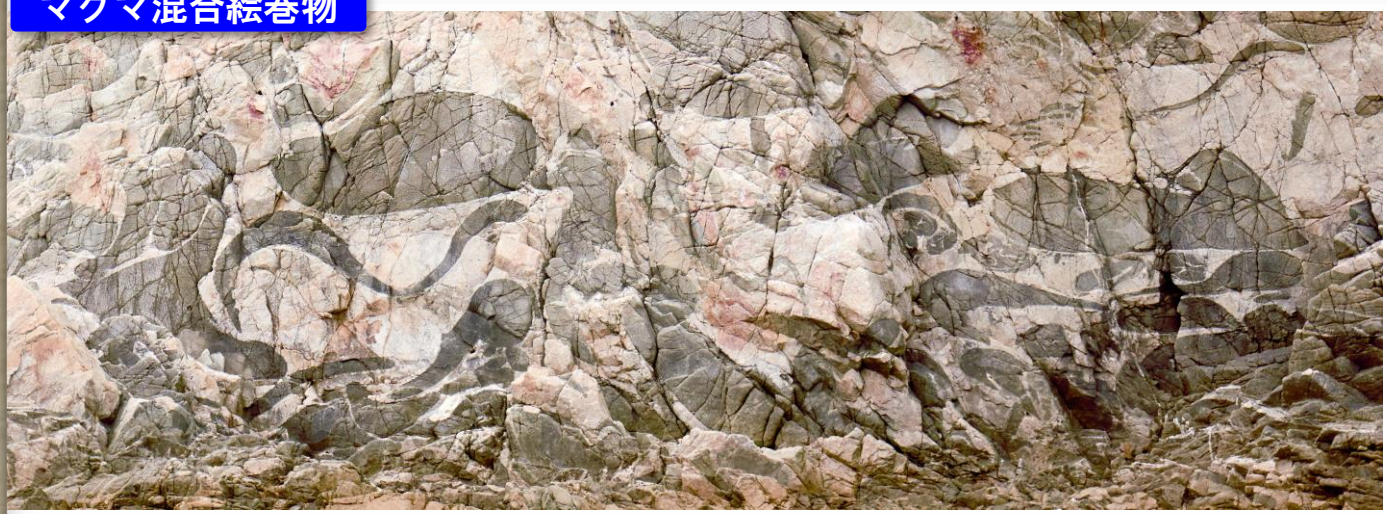
マグマだまりの上面に残るルーフペンダント

黒っぽく見える火砕岩が、その後貫入してきたマグマだまりの白っぽい花こう岩上部に取り残されています。このような様子をルーフペンダントといいます。
これは約9000万年前にカルデラの底の地中深くで起こったことですが、その後の隆起と侵食によって、現在は直接見ることができます。

花こう岩には、マグマだまり上部に集まった**ガスの抜けた穴**が多く見られます。（黒い点のように見える部分）

1 平家台 へいけだい **Heikedai**

マグマ混合絵巻物

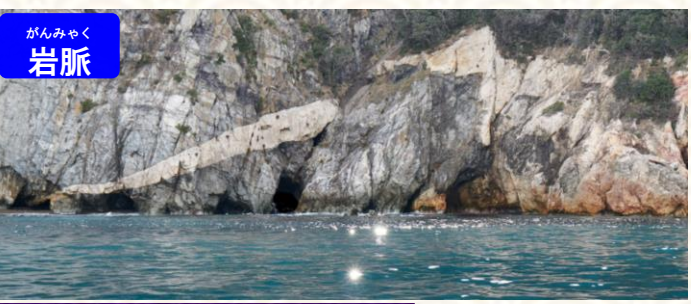


2 幕岩 まくいわ **Makuiwa**

地下の深い所で「白いマグマ」に「黒いマグマ」が入り込み、両者は混ざりあわないためにこのような模様になりました。両者が完全に混ざると「灰色のマグマ」になるはずです。

3 コーモリ洞 こうもりどう **Komorido**
4 竹の子岩 たけのこいわ **Takenokoiwa**

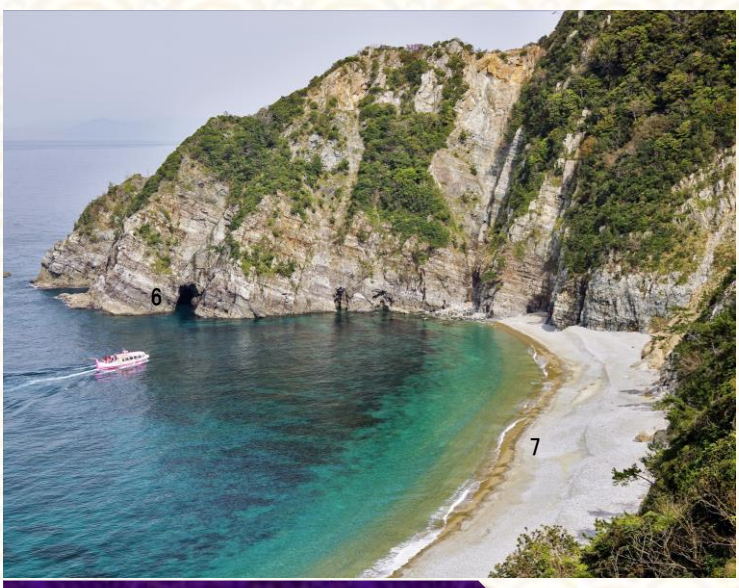
赤っぽい岩石は花こう岩で、ルーフペンダント直下のものと同じです。



岩脈 がんみゃく

5 白旗岩 しろはたいわ **Shirohataiwa**

地下の花こう岩マグマが割れ目に沿って地下から上昇してきた細粒花こう岩の岩脈（がんみゃく）です。



6 観音洞 かんのんどう **Kannondo**
7 金ケ浜 かながはま **Kanagahama Beach**

正面の絶壁には、火山灰や軽石などの火山噴出物が湖の底に堆積して固まってできた地層が見えます。

青海島：岩石のなりたちの違いが作る多様な美しい景観

名勝及天然記念物

文部科学省（当時内務省）指定
大正15（1926）年10月20日
高島北海（たかしまほっかい）
が国の指定に尽力しました。

北長門海岸国定公園

環境省（当時厚生省）指定
昭和30（1955）年11月1日

「海上アルプス」

横山健堂（よこやまけんどう）大正８（1919）年：わたくしは、「**アルプスは陸上のみにあるとは限らぬ、海上にもある、この風景が即ち海上アルプスである**」と言った。満船の人びと、皆共鳴した。爾来、海上アルプスの名が世に現れたのであった。（長周游覧記）

8 十六羅漢 じゅうろくらかん Jurokurakan

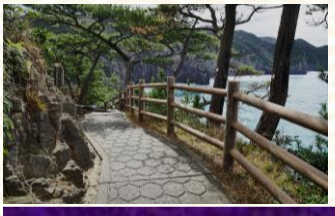
背の高い岩(カモメ岩と周辺の高い岩)：
粘り気の強い流紋岩マグマが地下から上昇してきた岩石で、きめ細かく硬いため侵食に強い。

背の低い岩:
火山噴出物が固まった凝灰岩で、カモメ岩などにくらべるともろくて侵食を受けやすい。

皇居宮殿 こうきょきゅうでん The Imperial Palace　波の間 なみのま Nami-no-Ma

この壁画は，山口県の青海島の岩をモデルにしたといわれる**東山魁夷**（ひがしやまかいい）作の「朝明けの潮」で、
縦約　3.8 m、
横約 14.3 mの
大壁画です。

（出典：宮内庁HP http://www.kunaicho.go.jp/about/shisetsu/kokyo/kyuden-ph.html）



9 青海島自然研究路 おおみじましぜんけんきゅうろ Omijima Nature Study Road

延長1900 mにわたり、随所に植物群落や名勝についての解説板が設置してあり、散策コースとして、Aコース1200 m（約40分）とBコース700 m（約20分）の２コースが用意されています。

10 屏風岩 びょうぶいわ Byobuiwa

海岸にそそりたつ屏風のような巨大な岩石で、流紋岩マグマが地下から板のような通路に沿って上昇してきたもの（岩脈）です。

11 大門 おおもん Omon

日本海の荒波による侵食によりできた洞門です。
門の高さは海の底から約40 mです。

日本の渚　100選

日本の森・滝・渚全国協議会
選定:平成8（1996）年7月10日

花津浦（はなづら）観音の岩場

ダルマギク

「大陸系植物で、地質時代の大陸と日本列島のつながりを物語る植物として珍重されている」
（出典：長門郷土文化研究会『郷土文化ながと第2号』）

ミサゴ

ナガミー（NAGAMI）

「長門市世界大会等キャンプ招致委員会」のマスコットキャラクターの**ナガミー**は、青海島静ヶ浦を中心に市内に多く生息する「ミサゴ」をキャラクター化したものです。
（出典：長門市世界大会等キャンプ招致委員会ＨＰ）

12 波の橋立 なみのはしだて Nami no Hashidate　13 青海湖 おおみこ Lake Omi

沿岸流で運ばれた砂やレキが堆積した長さ約1.3 ｋｍの「砂州」と
それに囲まれた山口県内最大の「潟湖（せきこ）」（淡水湖）

長門市の海岸線：北長門海岸国定公園の美しい光景

14 元乃隅神社 もとのすみじんじゃ Motonosumi Shrine

15 龍宮の潮吹 りゅうぐうのしおふき Ryugu Geyser 国指定天然記念物及び名勝 昭和9(1934）年8月9日指定

安山岩に貫入したデイサイトという岩脈が波で削れて洞となり、うち寄せる波が突入するごとに洞内の空気が圧縮され、その空気圧により海水を吹き上げる現象が見られます。北東の風で海が荒れると、潮の高さは30 mにもなることがあります。

16 棚田 たなだ Tanada

油谷宇津賀地区
　棚田は平均傾斜15 度くらいで、海に向って下っています。油谷町の棚田の魅力は、美しい日本海を背景としており、農林水産省の「日本の棚田百選」にも選ばれています。
　この地域は、堆積岩層と、その層の上に噴出した玄武岩溶岩からなり、山麓は地すべり地帯となっています。

17 千畳敷 せんじょうじき Senjojiki

玄武岩の溶岩台地で、眼下には日本海に浮かぶ島々、果てしなく広がる海と空の一大パノラマが展開します。

18 立石観音 たていしかんのん Tateishi kannon

玄武岩マグマが上昇してきたときの火道を示しており、マグマが冷え固まるときの収縮によって生じた節理が観察されます。

19 川尻岬 かわしりみさき Kawashiri Cape

玄武岩の溶岩流や柱状節理が見られます。

20 俵島 たわらじま Tawara Island

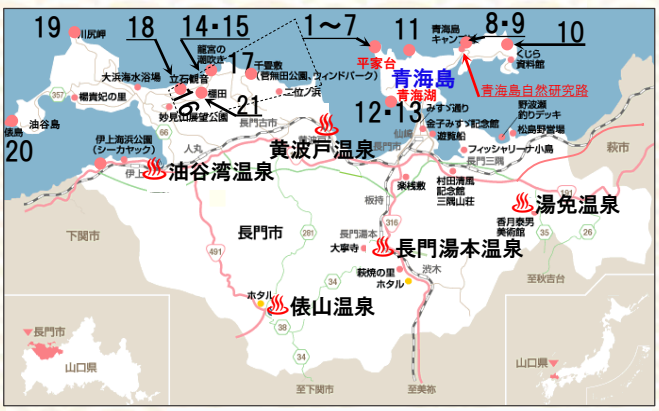
国指定名勝及び天然記念物 昭和2(1927）年6月14日指定

島全体が玄武岩からなり、柱状節理（規則正しい割れ目）がよく発達しています。陸部には地質学上貴重な海藻の化石「リソサムニウム」を産します。

第３回　長門市観光フォトコンテスト　～ながと原風景～　グランプリ作品

「月明かりの棚田と漁火と」　持吉 勝三
撮影場所　長門市東後畑

21



位置図　数字：写真番号　♨：長門温泉郷

【お問い合せ先】　（一社）長門市観光コンベンション協会　TEL　0837-27-0074
長門市経済観光部観光課　TEL　0837-23-1137
【協力】　山口大学・山口地学会